



トライエスプログラム®

株式会社オリエンタル観光 本社営業所

2026年 3月度 教育研修記録簿

作成者：株式会社アスア 宮田 雅史

1.実施概要

- 開催日 : 2026年 3月17日(火)
- 開催時間 : 13時30分 ~ 20時20分
- 開催場所 : 2階会議室
- 実施者 : 株式会社アスア 宮田 雅史
- 参加状況 : 16名/16名 (参加率:100.0% : 別紙参加者リスト参照)
- 法定12項目 :
- 教育区分 : **安全** 環境 労務 その他 ()

2.目標と進捗

■ 目標

- ① ミーティング参加率100% (欠席者 フォロー含む)
- ② 走行管理表の記入・提出100%
- ③ 安全教育の仕組みづくり

■ 進捗

No.	目標や課題		対応方法および進捗状況
①	目標	ミーティング参加率100% (欠席者フォロー含む)	【出席率】 3月度MTG出席率：16/16人 欠席者：無し 【対応方法】 ・ミーティング周知ポスターの提示と声掛けと時間割の活用 ・ミーティング当日の参加状況と管理 ・ミーティング欠席者フォロー実施 →横急運輸のミーティング日に参加、参加出来ない場合自社フォロー
	課題	・参加状況の整理 (声かけや周知) ・欠席者フォロー体制の構築	
②	目標	走行管理表の記入・提出100%	・2024年4月度分より走行管理表の記入開始 ・車両担当者の設定 (車番ごとに車両担当責任者を決定) ⇒出席リストに記載 【2026年1月度記入率】提出率：100% ・燃費記入：100%、月間燃費：100% ・目標燃費：100%、コメント：100%
	課題	・走行管理表の記入・提出率100% ・運用ルールの構築	
③	目標	安全教育の仕組みづくり	・全員が意欲的にミーティングに参加できる環境を構築する →ミーティングへの参加の呼びかけや目的の共有 ・乗務員ミーティング内でのコメントを管理者ミーティングにて共有 →優先順位付けやフィードバック方法などを確立していく
	課題	・ミーティング出席率 ・ボトムアップとフィードバック	

3.乗務員ミーティング

■ 議題テーマ：「交差点での危険・自転車追越しの間隔と注意（実地）」

- ① 走行管理表の記入状況
- ② 燃費推移確認
- ③ 事故推移・事故共有
- ④ 前回の復習【実地】チェーン脱着・非常用信号具・消火器について
- ⑤ 今回のポイント交差点での危険・自転車追越しの間隔と注意（実地）
- ⑥ 法定教育項目③バスの構造上の特性

■ 今回のポイント

- ・全交通事故の約57%が交差点で発生しており、交差点での事故による死傷者数は全体の約46%を占める
- ・交差点で多い事故の特徴を把握するとともに、交差点では大量の情報が集中しているため認知ミスやちょっとした不注意で重大事故につながる恐れがあることを理解する

交差点での事故内容

交差点で多い事故のパターンは大きく分けて5つあります。

	交差道路通行車との 出会い頭での衝突		横断中の歩行者、 自転車等との衝突
	停止、徐行した 前車への追突		右左折時に他車との 衝突
	右左折時に歩行者、 自転車等との衝突		

※出典：(一財)岡山県交通安全協会「交差点で事故をなくすために」

ANZEN KYOKU SLIDE

項目3 バスの構造上の特性

(5) スピードの特性に配慮した運転

車両が大きく重量のあるバスは、が大急な制動を及ぼします。
スピードを出し過ぎると、

(スピードと制動距離の関係)

時速	制動距離
10km/h	約 2.8 m
20km/h	約 5.6 m
30km/h	約 8.3 m
40km/h	約 11.1 m
50km/h	約 13.9 m
60km/h	約 16.7 m
70km/h	約 19.4 m
80km/h	約 22.2 m
90km/h	約 25.0 m
100km/h	約 27.8 m

(※1) 1秒間に約1.5mの制動距離

※制動距離が伸びるほど、重大事故につながる恐れがあります。スピードを出し過ぎると、制動距離が伸びるだけでなく、制動距離が伸びるほど、重大事故につながる恐れがあります。スピードを出し過ぎると、制動距離が伸びるだけでなく、制動距離が伸びるほど、重大事故につながる恐れがあります。

① スピード
② カーブ
③ 追突
④ 雨天時

ASUA COLIM All rights reserved.

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・交差点で特に怖いのは自転車の動きだね。信号無視なども平気ですから十分速度を落として確認が必要。
- ・道幅が狭い道路は自転車を追い抜くことは難しくなる。自転車も法律を理解してちゃんと走行して欲しい。
- ・普段危険を予測しながら運転している。何事にも車間距離と速度は落として走行が必要。
- ・実際運転席から自転車との感覚を空けて走行していると思っていたが、実際に凶ってみると思っているより距離が少なかった。
- ・以前からだけど、ウインカーを出さずに車線変更する乗用車やトラックがまだ多い気がする。

【法定項目について】

- ・バスだと交差点で良く確認していても死角部分はあるから、交差点の事前にもいろいろ情報収集が必要。
- ・乗用車と違い、目線が高くなるので前方との車間が短くなりがちなので車間を空けて走行します。

■ 所見

今回は交差点での危険、自転車追越し時の間隔についてお伝えさせていただきました。全交通事故の約57%が交差点で発生しており、交差点での事故による死傷者数は全体の約46%を占めます。また、交差点では大量の情報が集中しているため認知ミスやちょっとした不注意で重大事故につながる恐れがあることをお伝えさせていただき、交差点手前では速度を落とす、青信号であっても予測をして油断しないようお伝えさせていただきました。

4.管理者ミーティング

- 開催日 : 2026年 3月17日(火)
- 開催時間 : 14時20分 ~ 14時50分
- 参加者 長谷川社長、藤巻部長、野村氏、岩本氏、片桐氏
- 欠席者
- 議題 テーマ「交差点での危険・自転車追越しの間隔と注意（実地）」

- ① ミーティング出席 欠席者フォローについて
- ② 走行管理表の状況
- ③ 事故推移
- ④ DR映像について 車間距離確保状況
- ⑤ 活動2年目の目標
- ⑥ 今月の強化項目の設定

■ 議事録

No.	議題	内容
①	ミーティング出席 欠席者フォローについて	・ミーティング出席：16人/16人（100%） ※別紙、出席リストを参照ください ・欠席者フォロー：無し
②	走行管理表の状況	【2025年11月度記入率】提出率：100% ・燃費記入：100%、月間燃費：100% ・目標燃費：100%、コメント：100% ⇒目標燃費はMTG内で次月の目標をドライバーと設定する
③	事故推移	・活動1年目（2025.3～ミーティング現在）事故総数7件 車両事故7件、その他事故0件 ※昨年同月対比7件減少 ・2月度：事故無し、3月度：被害事故1件（ミーティング時点） ・昨年同月対比：車両事故1件減少
④	DR映像について 車間距離確保状況	・次月ミーティングまでに全ドライバーの車間距離の確保状況に ついて、ドライブレコーダー映像を確認してもら ⇒気になるものについてはミーティングにて共有 ・ミーティング内にて、DR映像を活用する（担当：野村さん）
⑤	活動2年目の目標	・車両事故5件以下、追突事故0件を目標数値とし事故防止への 取組を継続していく ⇒年3回の車両などを活用した、実地（実技）の実施予定
⑥	今月の強化項目の設定	・毎月、強化項目を設定し点呼時、定期的に確認を実施する 4月度強化項目：交差点青信号でも気を抜かない 具体的行動：交差点手前からブレーキに足を置いておく

■ 所見

活動2年目として、車両事故5件以下（物損含む）を目標に取組んでいきたいと考えております。活動1年目は活動前と比較して皆様のおかげで大幅に事故を削減することが出来ました。活動2年目は事故の事前対策として、ドライバーの方の普段の運転などをご確認いただき良い運転やリスクがある運転をピックアップしてミーティングでの共有や個別指導などの強化をしていきたいと考えております。

